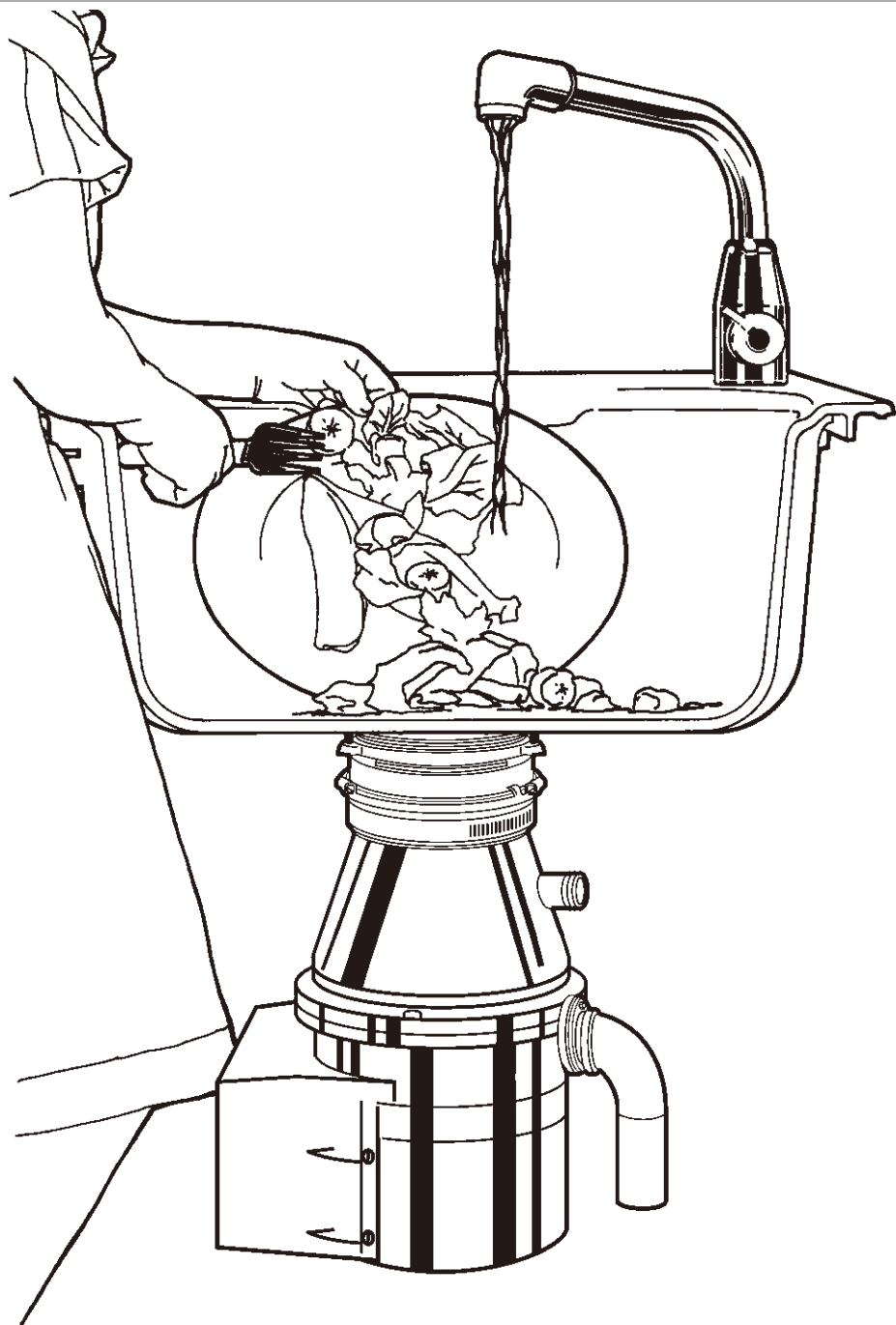




家庭用ディスポーザ 120 型
据付，取扱い，整備説明書



Part No.74234 10/05

仕 様 表

設 置 場 所	流し台シンク下部
使 用 可 能 水 温	0℃～60℃
電 源 周 波 数	50 Hz / 60 Hz
電 圧	AC100 V
電 動 機 形 式	DC ブラシレスモーター
最 大 出 力	300 W
定 格 消 費 電 力	170 W （待機電力 2W ）（標準生ゴミ粉碎中平均）
連 続 運 転 時 間	5分（タイマー付）
ス イ ッ チ の 種 類	フタスイッチ方式
破 碎 方 式	ハンマーミル方式
安 全 装 置	モーター保護回路、漏電しゃ断器
外 形 寸 法	幅180mm×奥313mm×高328mm
質 量	7.8kg
デ ィ ス ポ ー ザ ー 制 御	マイコン制御
電 源 コ ー ド の 長 さ	1.0 m

本製品の特徴

モーター部

- 新規開発のDC ブラシレスモーターを採用し、高効率性と高トルクによる粉碎性能を両立させました。
- 回転は緩やかに始動しますので、衝撃がありません。

耐久性

- 弊社開発の自動反転方式、360度回転ハンマーを採用し、噛み込みの起こり難い構造です。

使い易さ

- 粉碎室は約1.5リットルと大型です。十分な量の生ゴミを貯めて、最後に粉碎運転することにより、節電と節水になります。
- 開口部がφ100mmと大きく、落ちたものを取り除く際に手を入れやすくなっています。

安全性

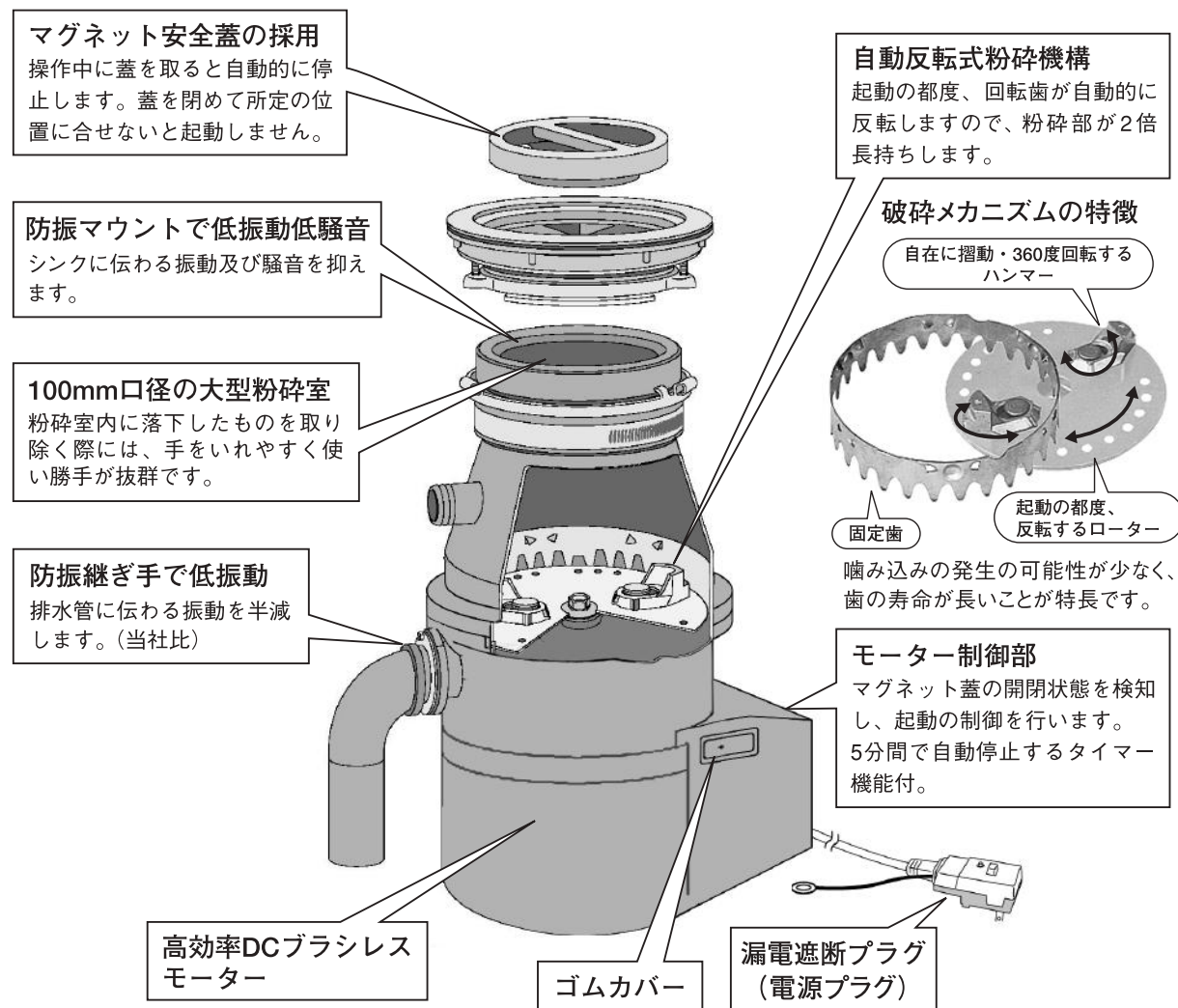
- フタスイッチをはめてONにしないと始動しませんので安全です。
- ハンマーは粉末冶金製ですので、するどいエッジがなく安全です。

低振動・低騒音

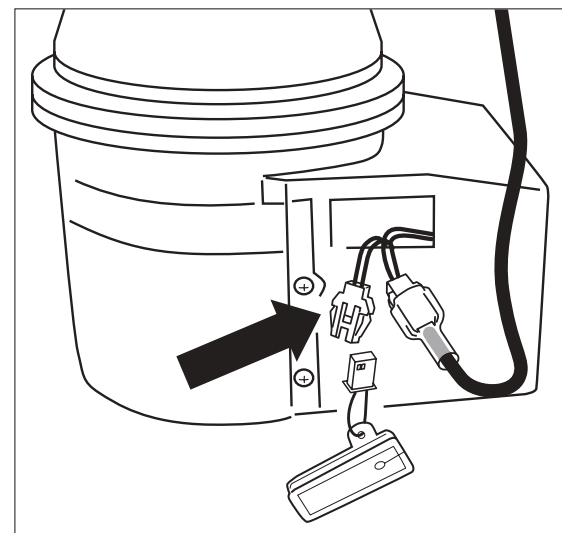
- 防振マウントにより、シンクに伝わる振動及び騒音を抑えます。
- 防振接ぎ手により、排水管に伝わる振動を半減します。

据付容易性

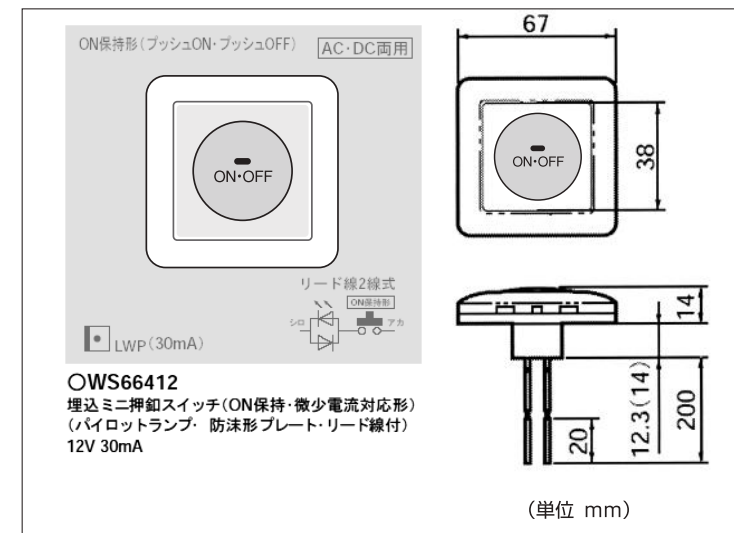
- 本体は、取り付けマウントにクイックロック式で容易に取り付けられます。
- 制御部への接続コネクタはゴムカバーで隠されますので、据付後に物がぶつかってこわれる心配がありません。



手元スイッチ取り付け方法 (別売り)



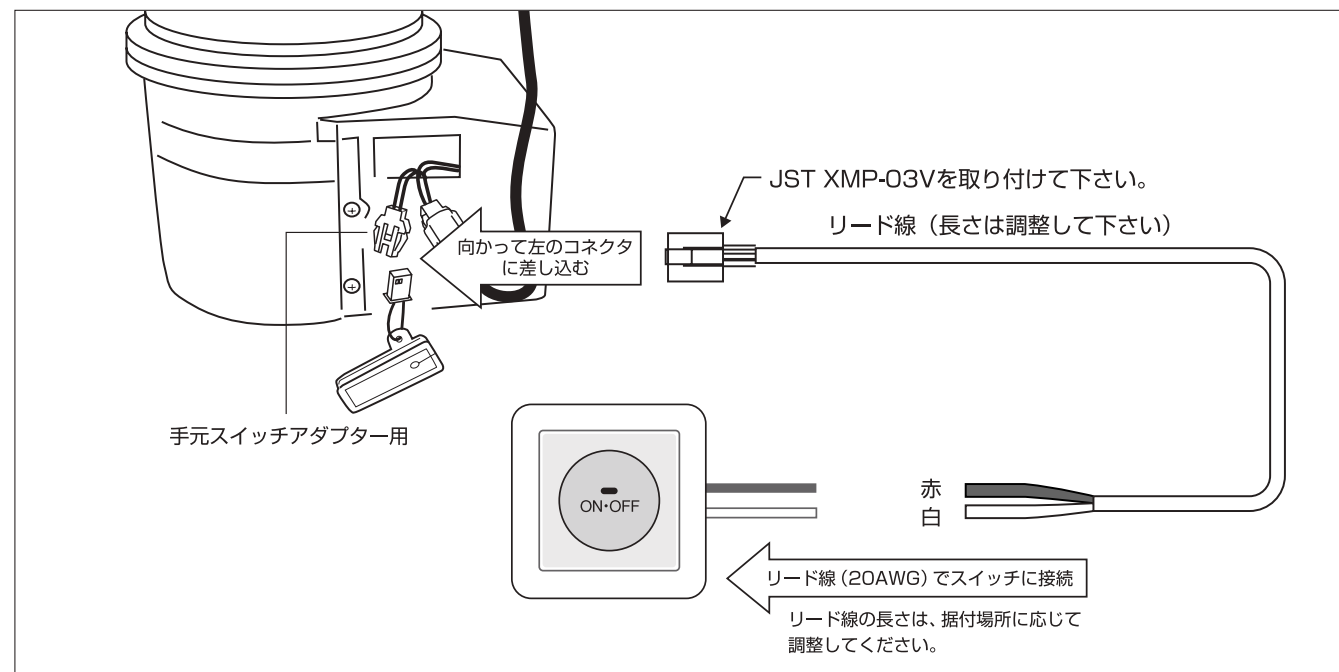
① 外側のコネクタに差し込んであるソケットをはずして下さい。



② ON保持型DCスイッチを用意してください。

(推奨品: 松下電工株式会社 埋込ミニ押釦スイッチWS66412)

③ コネクタ JST XMP-03V と、リード線 AWG20～24 300VDC UL1007 を接続して下さい。長さは現場に応じて調整します。



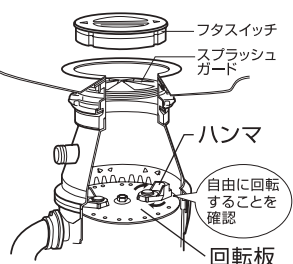
④ ②で用意したスイッチと③のリード線で接続して下さい。コネクタをディスプレイのコネクタにしっかりと差し込んで下さい。コネクタへの差し込み後は、コネクタ部を防水キャップで覆って下さい。

⑤ 手元スイッチ動作説明

手元スイッチを接続しますと

- 手元スイッチを押して、電源をONにすると、待機中となり、手元スイッチのランプが点灯します。
- フタスイッチを「入」にすると、ディスプレイの運転が開始されます。
- フタスイッチを「切」にすると、ディスプレイの運転が停止します。
- 手元スイッチを押して、電源をOFFにしてディスプレイを停止することも出来ます。
- 運転開始後、5分経過するとタイマ機能によりディスプレイは停止します。

故障と思われる時の対応

症 状	原 因	処 置
●フタスイッチを「入」にしても運転しない。	●停電していませんか？ ●電源プラグが電源コンセントに差し込まれていますか？ ●漏電していませんか？（漏電表示ランプが点灯している） ●制御部の黄色いリセットボタンを押しましたか？ ●フタスイッチが投入口に確実に取り付けられていますか？	停電の復旧を待ってください。 電源プラグを電源コンセントに確実に差し込んでください。 電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、サービス連絡先に連絡してください。（裏表紙） 30分程度待ってから黄色いリセットボタンを押してください。 フタスイッチを確実に取り付けて、再度フタスイッチを「入」にしてください。
●うなり音はするが起動しない。 （モーターが回転していない状態）	●粉砕室に異物がかみ込んでいませんか？	『異物がかみ込んだ場合』を参照してください。（12ページ）
●運転中にモーターから異常音がしたり、異常な振動がある。	●シンクにためた水を流しながら運転していませんか？ ●粉砕室に異物がかみ込んでいませんか？ ●回転板上のハンマが固着していませんか？	フタスイッチを「切」にして、運転を止めてください。ためた水を完全に流し終えてから運転してください。 『異物がかみ込んだ場合』を参照してください。（12ページ） 回転板上のハンマに異物が固着している場合にも、大きな振動が発生することがあります。ハンマが自由に回転するかどうか確認して下さい。自由に回転しない場合は、原因となる異物を、菜箸等を用いて取り除いて下さい。 
●排水が悪く水が溜まってくる。	●粉砕室に粉砕しにくい物が残っていませんか？ ●トラップ部に粉砕物がつまっていませんか？	水を流さず、再度フタスイッチを「入」にしてください。 市販の大型真空式パイプクリーナー（またはラバーカップ）をご購入のうえ、生ゴミ投入口に合わせ、排水するまで上下にゆっくり動かします。それでも排水できない場合はサービス連絡先にご連絡ください。
●運転が途中で止まる。	●長時間連続運転していませんか？	長時間運転するとモーター保護のため運転が停止する場合があります。数分間程度待ってからリセットボタンを押してください。
●排水が悪く水が濁ってくる。	●フタスイッチが投入口から外れていませんか？	フタスイッチを確実に取り付けて、再度「入」にしてください。
●水漏れする。	●シンクアダプタ部、トラップ部、防振接ぎ手部が緩んで漏水している。 ●トラップ部が緩んで漏水している。	サービス連絡先にご連絡ください。 サービス連絡先にご連絡ください。

据付説明書

この説明書にはお買い上げいただいた家庭用ディスポーザのシンクへの取り付け方と電気接続の仕方を説明してあります。



警告

電気工事・配線工事は電気設備技術基準等に従い、安全、確実にこなってください。
設備工事は、設備専門業者または指定業者がおこなってください。

必要な工具

1. ドライバー
2. モンキーレンチ
3. ロックナット締付レンチ

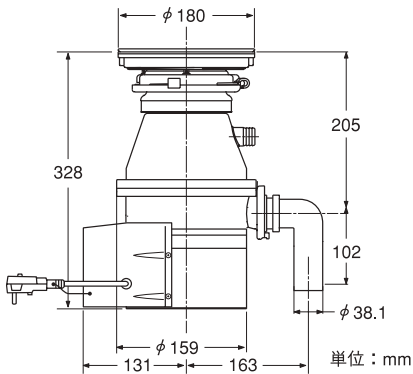
ディスポーザ以外に必要な部品

PトラップまたはSトラップ

備えておくと便利な工具

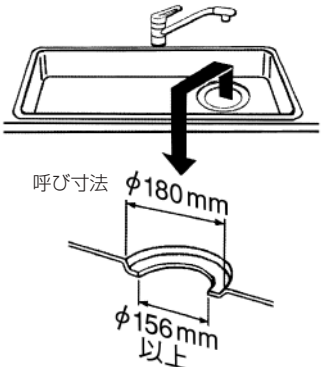
- | | |
|-------------|--|
| 1. 排水管清掃ブラシ | 6. スケール |
| 2. カッターナイフ | 7. 携帯用ジャッキ
(例：テラオカ、カラーラボ
ジャッキBOY110) |
| 3. 金のこ | 8. 水ストッパー
(例：サンエイ 流し排水用
びたっと) |
| 4. パイプレンチ | |
| 5. 塩ビ用接着剤 | |

本体寸法



●シンク排水口径の確認

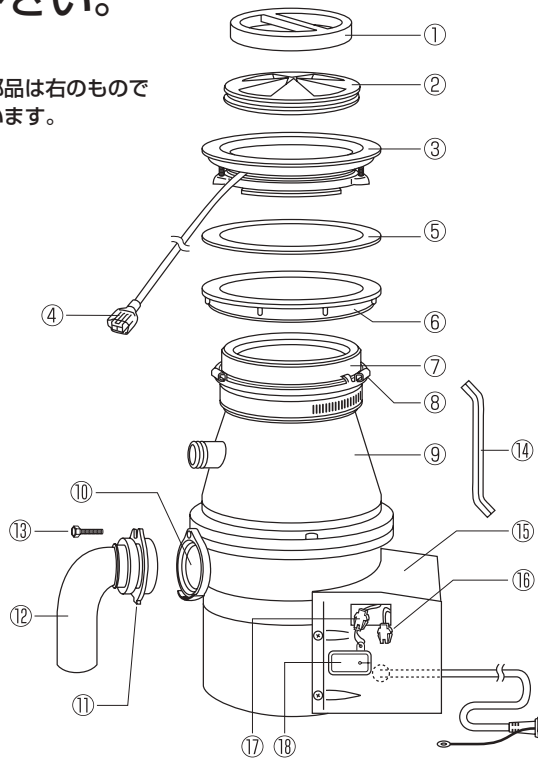
取り付け可能なシンク排水口の外径呼び寸法はφ180、内径φ156以上です。



1

下の図にてらしあわせて部品が全部そろっているかチェックして下さい。

組み立て用部品は右のもので成り立っています。



- ① 蓋スイッチ
- ② スプラッシュガード
- ③ シンクフランジアセンブリ
- ④ 検知スイッチコネクター
- ⑤ パッキン
- ⑥ ロックナット
- ⑦ 防振マウント
- ⑧ 下取付リング
- ⑨ ディスポーザ本体
- ⑩ 排水口
- ⑪ 排水管フランジ
- ⑫ 排水管
- ⑬ ボルト
- ⑭ サービスレンチ
- ⑮ 制御部カバー
- ⑯ コネクター受口 (A)
- ⑰ コネクター受口 (B) 内蔵
- ⑱ スイッチゴムカバー
- ⑲ 漏電遮断プラグ (電源プラグ)

2 ご使用になっている流しの排水管の掃除

既成の流しに、新たにこのディスポーザを取り付ける前に、排水管の掃除をお勧めします。トラップを外して、排水管清掃ブラシを使ってトラップから主排水管に至るまでの水平に敷設してある排水管を掃除して下さい。水平な管と垂直な排水管が交わる部分に出来る固形物を排水管清掃ブラシできれいに取り除いてください。

3 電源の配線

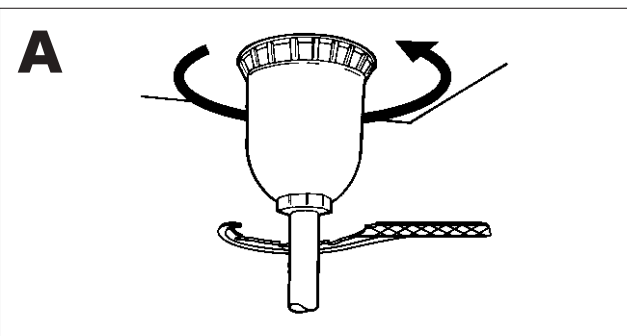
⚠ 警告

感 電

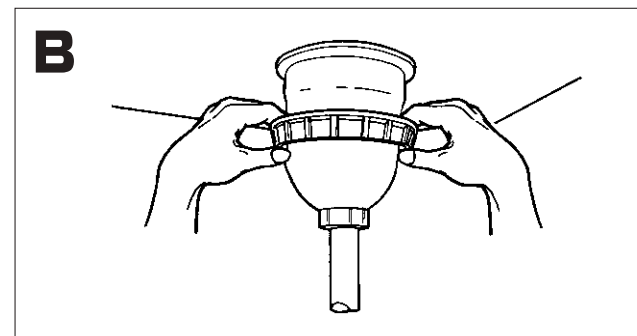
- 本器具の取り付け、または修理の際には必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 電源プラグに附属のアース線は必ず、アースに接続して下さい。
- 本器具についているプラグを変更しないで下さい。
- 本器具のアース接続用導線を間違えて接続すると感電の恐れがあります。
- 配線はすべて、現地の工事規則に従って下さい。
- アース線をガス管に接続しないで下さい。
- 定格15A、交流100Vの専用回路を単独で使用して下さい。
- ディスポーザはアースがしてある常設の配線施設に接続するか、あるいは電源用の導線に必ずアース線がついていて、それをディスポーザのアースターミナルかリード線に接続しなければなりません。
- 正しいアースの配線が済むまでは、電源は入れないで下さい。

4 流し台のゴミ収納装置をはずします。

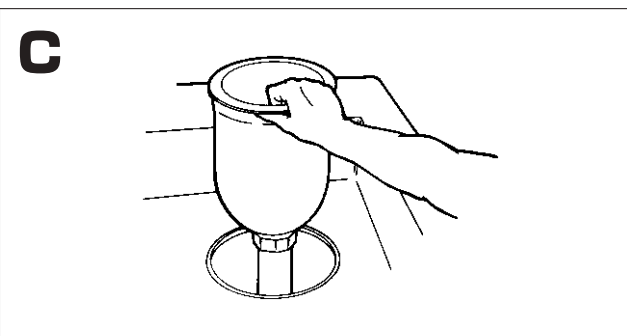
流しの生ゴミバスケットとトラップを外します。



ゴミ収納器の下よりレンチを入れます。(パイプ部分を先に外して下さい)



ゴミ収納器ロックナットをはずします。



ゴミ収納器を取り外します。

異物をかみ込んだ場合の解除方法

1. 水を止めてから、フタスイッチを「切」にしてください。



2. 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。



3. フタスイッチとスプラッシュガードをはずし、内部の回転板が停止していることを確認してください。その後、かみ込んだ異物を、菜箸などで取り除いてください。



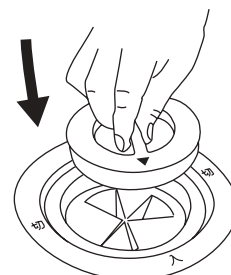
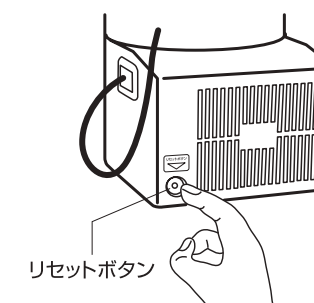
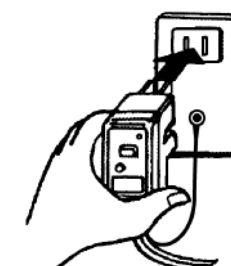
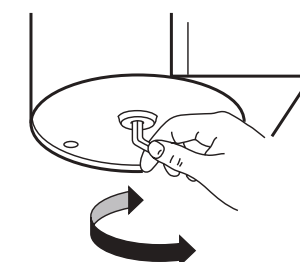
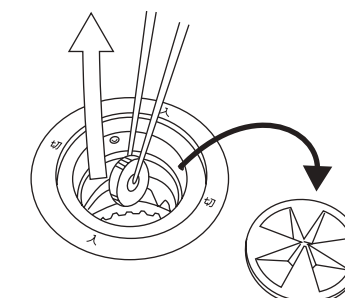
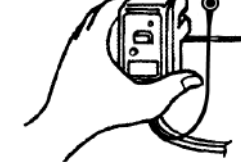
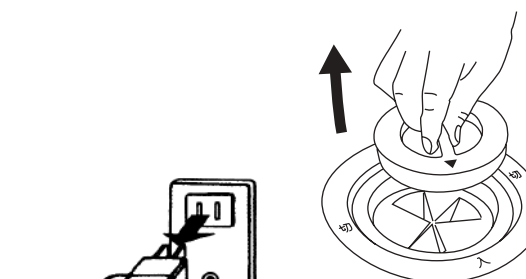
4. 異物の確認ができない場合は付属のサービスレンチを本体下部の挿入口に差し込み、レンチが左右に自由に動いて数回転できるようになるまで動かします。その後サービスレンチを外します。



5. かみ込んだ異物は菜箸などで取り除いてください。その後、スプラッシュガードとフタスイッチをもとの位置「切」にもどし、電源プラグをコンセントに差し込み、リセットボタンを押してください。



6. 再度、運転して下さい。



日常のお手入れ（消臭方法、ヌメリ取り）

ディスポーザから異臭がするのは通常、流水の量が不足し内部の清掃が良く行われなかった結果、少量の油脂や残余物が蓄積している場合が多いので次の処理を行って下さい。

1. レモンの皮を1～2個分処理して下さい。
2. ディスポーザの電源を切り、フタスイッチの下のゴム製のスブラッシュガードの裏側を清掃します。その後、ディスポーザ本体内部の上部入り口を磨いて下さい。
3. 流しに水ストッパー等で栓をしてぬるま湯を半分程満たします。そこに重曹（大匙4～5杯）を加えてかき混ぜ重曹溶液を作ります。蓋ははずしてから重曹溶液を流します。これで重曹溶液がディスポーザの内部の汚れを除去します。
4. ヌメリがある場合は、角氷を5～6個ディスポーザに入れて破碎して下さい。

⚠ 注意

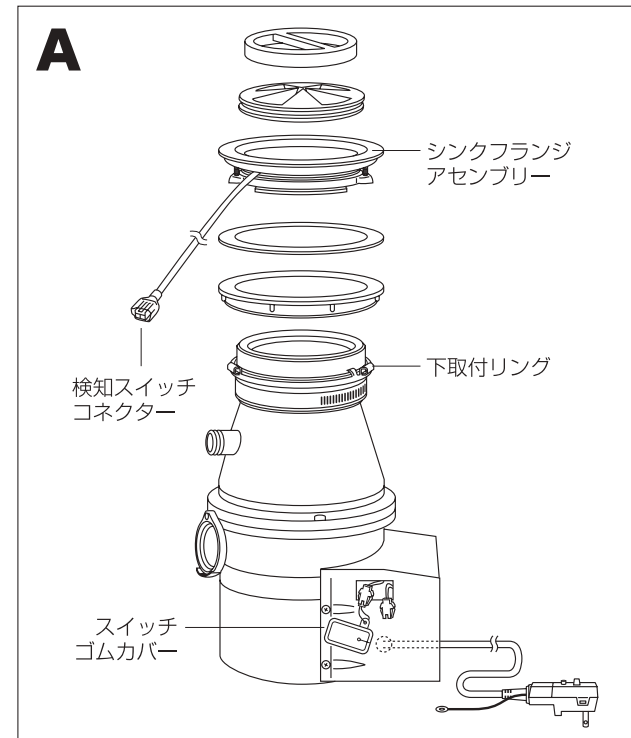
重曹が目に入らないように注意して下さい。
異臭が消えないときは排水管路に原因がある場合も考えられますので、ご確認下さい。

⚠ 警告 火災事故、感電事故、人身障害等の危険についてのご注意

電気器具をご使用の場合にはつぎのような基本的な注意事項を必ずお守り下さい。

1. 器具をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読み下さい。
2. ご使用中、子供が近くに居るような場合には、とくに注意して事故が起こらないようにして下さい。
3. 指や手をディスポーザの中に入れないで下さい。
4. ディスポーザから異物を取り除く場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、長柄のドライバーや菜箸を使用して異物を取り除いて下さい。異物がディスポーザ内部に噛み込んで取り出しにくい場合は、サービスレンチをディスポーザ底部の中心にあるモーターシャフト穴に差し込んで手動でいずれかの方向に回転させるとはずれます。
5. ゴム製のスブラッシュガード（水飛散防止）が劣化して、水滴のはねかえりや噴出の防止能力が落ちた場合には交換して下さい。
6. アースに関するご注意。
 - 本機器は必ずアースして下さい。万一、機能不全や故障が発生したときは、アースは電流を地上に直接逃し感電事故の危険性を減じます。
 - アース用導線を間違えて接続すると感電の危険があります。

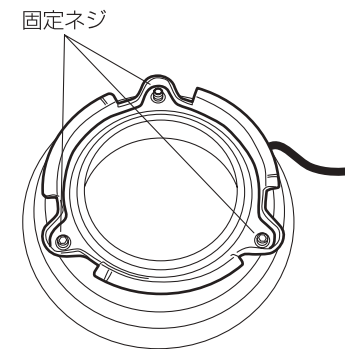
5 シンクフランジの取付け



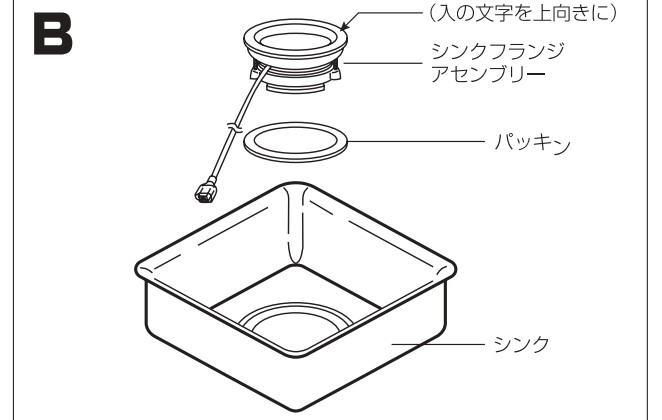
- ①制御部カバーからスイッチゴムカバーを外し、検知スイッチコネクターを外して下さい。
- ②下取付リングを緩めて、シンクフランジアセンブリを外して下さい。
- ③ディスポーザ内部に異物が入っていないことを確認して下さい。

⚠ 注意

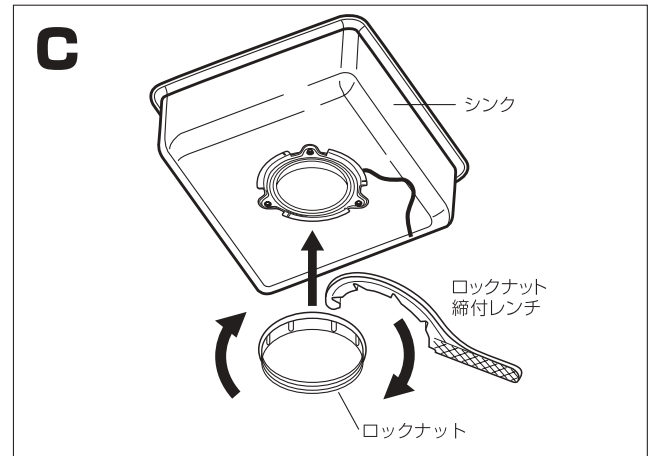
シンクフランジアセンブリは分解しないで下さい。



シンクフランジアセンブリの底部にある固定ネジ（3箇所）は工場で調整されています。分解、調整をすると漏水等の不具合の原因になります。

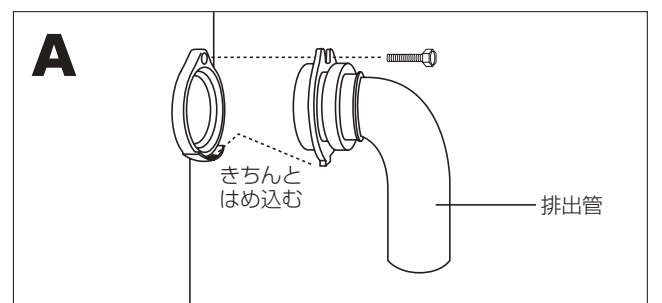


ゴミ収納装置を外したシンク開口部に、シンクフランジアセンブリとパッキンを上からはめ込みます。漢字の「入」「切」の向きに注意してください。



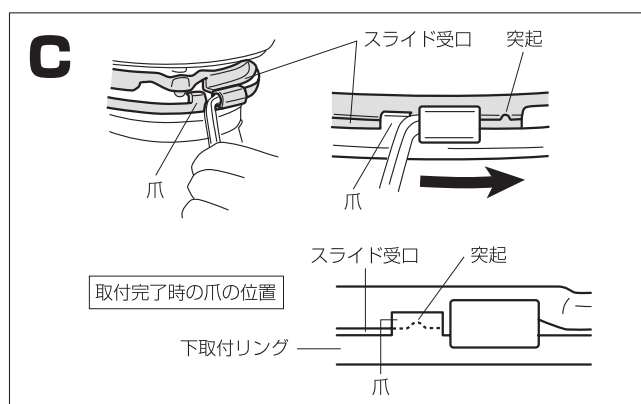
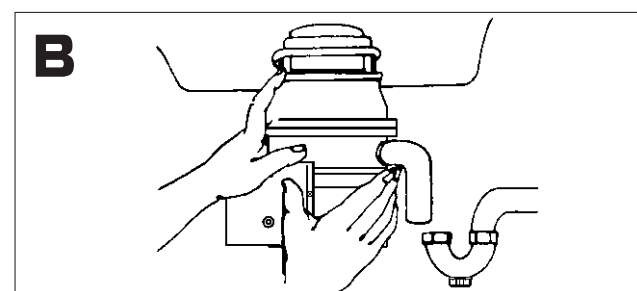
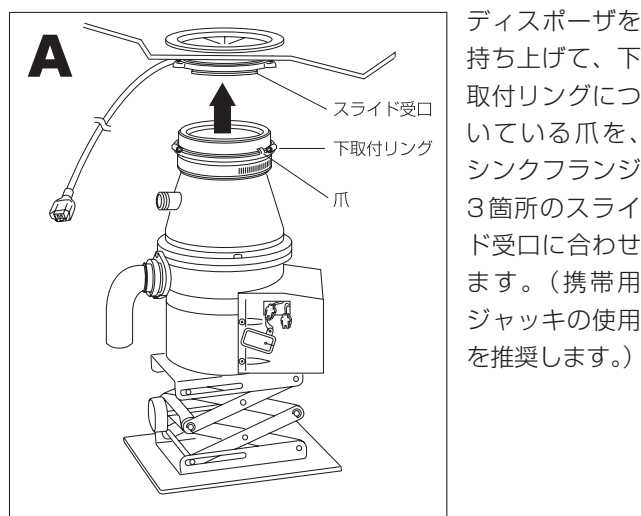
下側からロックナットをロックナット締付レンチでしっかりと締めつけます。（ゆるみがあると漏水の原因になります）

6 排水管のディスポーザ本体への取付け

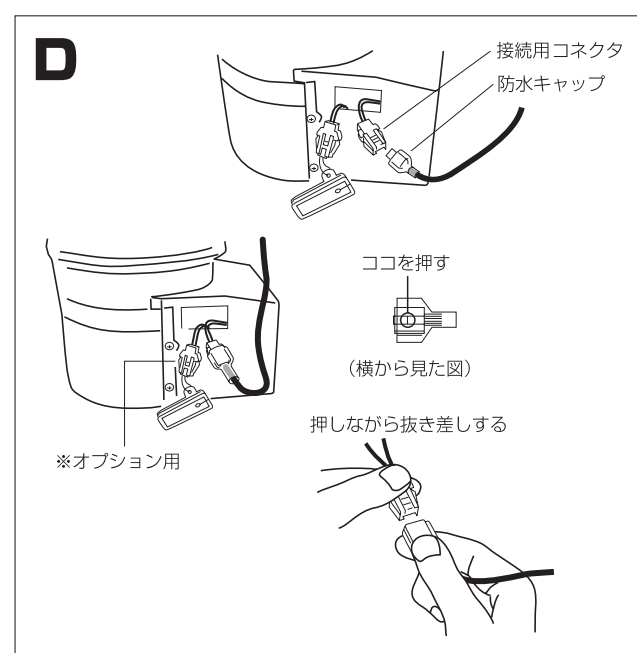


排水管フランジを図のように取付け、配水管を排水口に取り付けます。

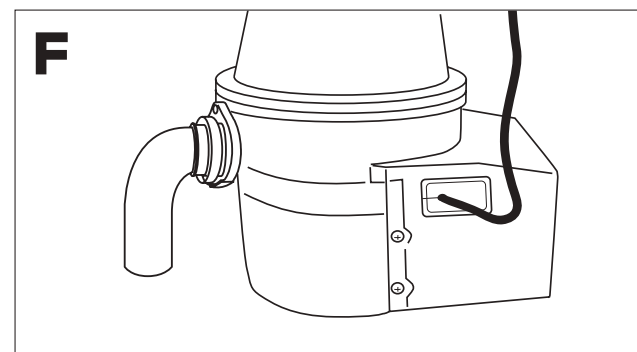
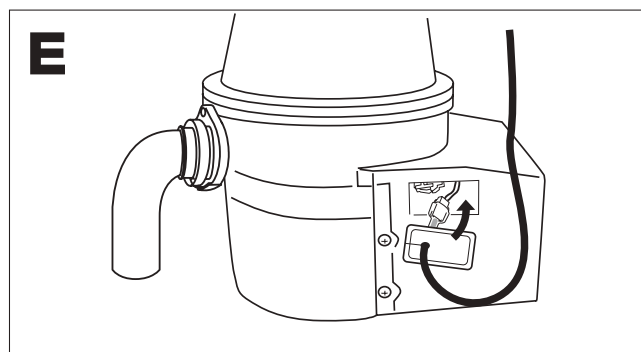
7 ディスポーザのシンクフランジへの取り付け



下取付リング3箇所の差込穴の1箇所にサービスレンチを挿入し、シンクフランジ3箇所のスライド受口に合わせ、突起に爪が乗るまで右いっばいに回します。事前にスライド受口にシリコンオイルを塗布しておけば容易に回せます。爪が突起に乗らない時はパイプレンチ等で強く締めつけてください。



コネクターを確実に差し込んでください。検知スイッチコネクターを下部コネクター受口(A)に接続し、防水キャップをします。(向かって右側に接続します)



運転上の注意

- 処理中には蛇口全開の半分程度の水を流し、処理後も10秒間流したあとで水を止めて下さい。
- 処理が終わる前にディスポーザの運転を停止したり水を止めることは避けて下さい。

- 次の生ごみは下記の要領で投入口に入れてください。

メロンの皮・スイカの皮など、厚いもの
(粉碎室からトラップへ排出されない恐れがあります)



5cm程度に刻んで投入してください。

生魚の皮・鳥の皮・大きな果実の種・
軟らかい餅などねばりつくもの



少しずつ他の生ごみと混ぜて処理してください。

- 投入口に、次のような物を多量に入れないでください。食器洗いに使用される量や、鍋などに付着している油量程度は支障ありません。

- サラダ油 ●天ぷら油など ●台所用洗剤
- 酒類 ●薬品類(殺虫剤、除草剤など)

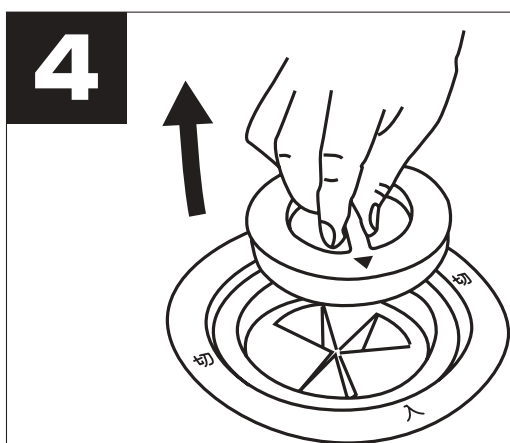
※下水処理槽で正常な処理ができなくなる原因になることがあります。

- 投入口に、次のような物を絶対に入れないでください。

- 金属 ●プラスチック ●陶器類
- 紙 ●木類 ●たばこの吸いがら
- ラップ ●ビニール ●ゴム類など
- (●熱湯 ●熱い天ぷら油 ●熱いカレー等の高温のもの ●多量の生クリームやマヨネーズ ●サラダ油や天ぷら油等の廃油 ●大量の酸 ●アルカリ性洗剤)

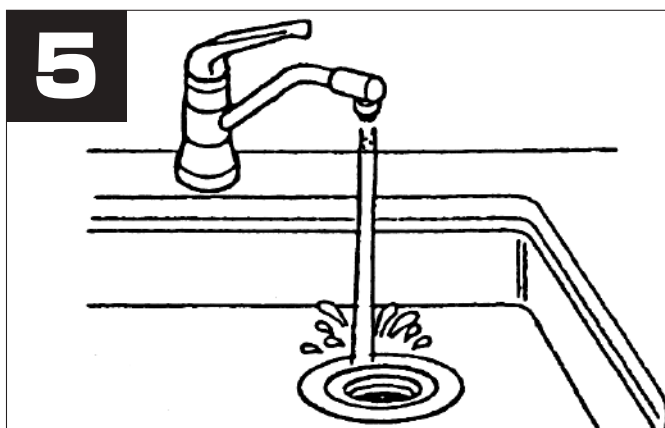
- かたい生ごみや強い繊維質のもの
- サザエ、アワビ、ハマグリ等の貝殻
- かに類の殻 ●大きな魚の骨 ●多量の生米
- 調理前の固い餅 ●タケノコや栗の皮
- トウモロコシの皮や芯 ●多量の枝豆の皮
- 生け花 ●パイナップルの芯
- 多量の卵の殻

※下水処理槽で正常な処理ができなくなります。また、故障や排水管詰まりの原因になることがあります。

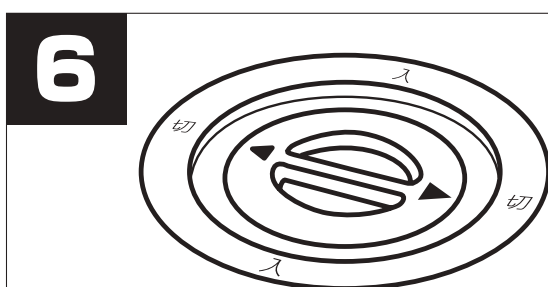


4 ディスポーザの運転音が静かになりましたら、フタスイッチをはずして運転を停止してください。

生ごみの粉碎は終了しています。
※始動後5分間経過すると、タイマ機能により運転が自動的に停止します。再び始動させたい場合は、フタスイッチを外して再度「入」に合わせて下さい。



5 配管の詰まりを防ぐため、運転を停止した後も、約10秒ほど水を流してから水栓を閉めてください。



6 使用しない時は、フタスイッチを「切」の位置に合わせて、入れておいてください。

⚠ 注意

※フタスイッチには磁石が内蔵されています。
フロッピーディスク・時計・医療機器等、磁石の影響を受けるものを近づけない様にして下さい。
※誤操作を避けるために、シンクフランジ近辺に磁力を持つ物を近づけないで下さい。

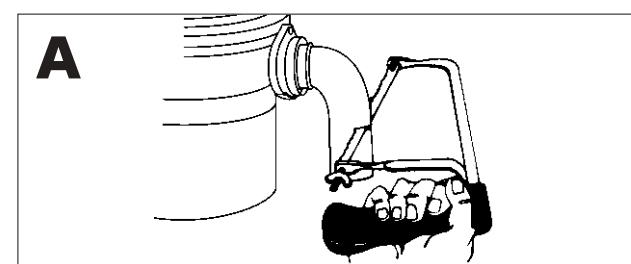
⚠ 警告

ディスポーザの使用にあたっては、次のことを忘れないで下さい。

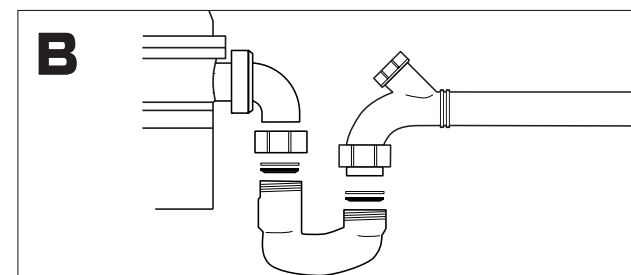
- ディスポーザの中には絶対に手を差しこまないで下さい。
- ディスポーザに詰りが起きたり、モーターの保護器が切れたりしたときには、必ずまず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、詰りを除去し、リセットボタンを押して下さい。
- 熱した油やグリース類、化学薬品などは絶対に流さないで下さい。

8 トラップの取り付け

1. Pトラップの場合

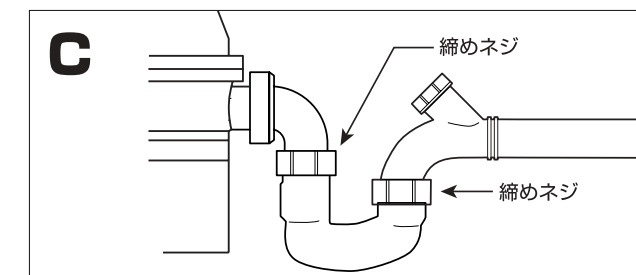


管が長すぎたら、必要なだけ金のかで切って下さい。
切り口が綺麗で真っ直ぐになるように切って下さい。



管が短かく、排水管が排水トラップの出口まで届かない場合は、延長用の管を用いて接続して下さい。

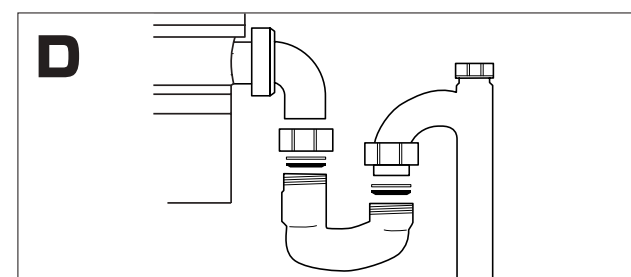
注：ディスポーザ内の水のよどみを防ぐためにディスポーザのごみ排出口の高さは排水管ラインの水平レベルより高い位置に置いて下さい。
もう一度、**7のC**に従ってディスポーザの固定を確認してください。



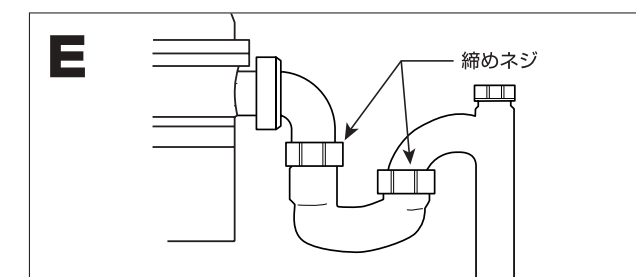
ぴったりと合ったら、トラップの締めネジは確実に締めて排出管を接続して下さい。

2槽式シンクの場合、又は1槽式でオーバーフロー、又は、洗剤を入れる排水口のある場合には、排水口の立ち上げは個々に行って下さい。

2. Sトラップの場合

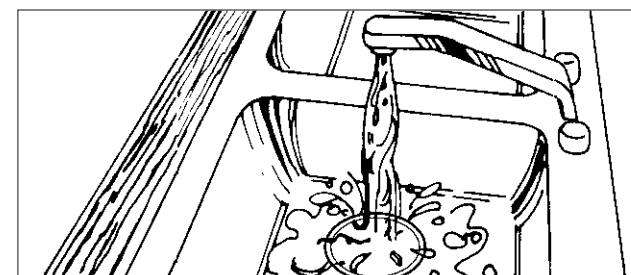


ディスポーザの排水口にSトラップを取り付けます。



Sトラップの下端を下水の配水管に接続し、締めネジを確実に締めてください。

9 水漏れ確認



市販の水ストッパー等をはめて、シンク内に水を満たします。



最後に水ストッパーを抜いて水を流し、水漏れを調べます。
もし、水漏れがあれば配管の再確認を行って下さい。

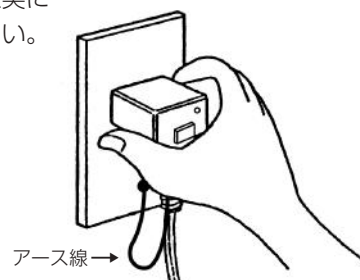
10 運転確認

電源を接続します。

まず、フタスイッチが切っていることを確かめてから、ディスポーザの電源プラグをコンセントに接続します。

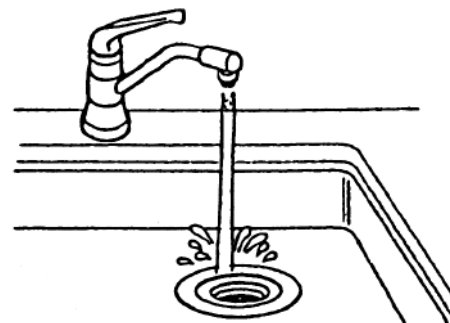
1 電源プラグを差し込む

- 電源プラグを確実に奥まで差し込みます。アース線も確実に接続して下さい。



2 水を流す

- 栓を全開の半分程開いて下さい。

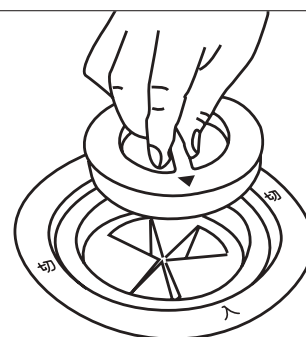


警告

アース線を接続しないと感電の危険があります。

3 投入口にフタスイッチをはめる

- 別売りの手元スイッチ（14ページ参照）を接続している場合は、手元スイッチを「ON」にして下さい。
- 投入口のフランジとフタの「入」位置を合わせて挿入してください。
- 始動時に正常に運転し、運転中に異常音、異常振動がないか確認して下さい。



水の流し方

効果的に処理するための流量は毎分約8リットル（蛇口全開の半分）です。配水管の詰りを防ぐため、必ずまず最初に水を流し、その後でディスポーザのフタスイッチを「入」に合わせて下さい。

4 水を止める

正常に動作していることを確認の後、フタスイッチを外して「切」位置に合わせて下さい。処理が済んだ後もしばらく（約10秒間）水を流し続けて下さい。

5 タイマを確認する

このディスポーザにはタイマ機能が付いています。始動後5分間経過して、自動的に運転が停止することを確認して下さい。

● お問い合わせ

- 本製品のトラブルや不明点などは、販売店または施工業者にお問い合わせください。
- 付属の保証書に捺印された販売店または施工業者まで、ご連絡ください。
※ 保証書にある保証期間を過ぎた場合は、有償修理となります。
- 販売店または施工業者でも解決できない場合は、下記にお問い合わせください。

「取扱方法やディスポーザに関するお問合せ」

esco 株式会社 日本エスコ

☎ 0120-101-539

公式WEBサイト：www.esco-j.com



本マニュアルの一部、または全部について、無断でデータの複製、複写、転載することを禁じます。

78287 Rev B J